



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

2021年1月29日

上場会社名 株式会社 小松製作所 上場取引所 東  
 コード番号 6301 URL <https://home.komatsu.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 啓之  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 渡辺 晃利 TEL 03-5561-2616  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,513,310	△17.2	107,536	△48.3	103,359	△45.6	65,976	△51.2
2020年3月期第3四半期	1,827,442	△9.5	207,828	△29.7	189,922	△31.7	135,268	△26.6

(注) 四半期包括利益 2021年3月期第3四半期 93,430百万円 (△6.0%) 2020年3月期第3四半期 99,366百万円 (△38.7%)

	1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	69.83	69.80
2020年3月期第3四半期	143.27	143.15

#### (2) 連結財政状態

	総資産	資本合計 (純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	3,592,994	1,892,125	1,799,500	50.1	1,904.04
2020年3月期	3,653,686	1,856,225	1,771,606	48.5	1,875.47

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	55.00	—	39.00	94.00
2021年3月期	—	18.00	—		
2021年3月期（予想）				25.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当社株主に帰属 する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,119,000	△13.3	134,000	△46.6	127,000	△43.1	80,000	△48.0	84.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 0社（社名）、除外 0社（社名）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期3Q	972,887,610株	2020年3月期	972,581,230株
2021年3月期3Q	27,792,138株	2020年3月期	27,959,273株
2021年3月期3Q	944,121,075株	2020年3月期3Q	943,730,719株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。そのことをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動、及び国内外の各種規制並びに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

(参考) 2021年3月期第3四半期(3カ月)の連結業績(2020年10月1日~2020年12月31日)

(百万円未満四捨五入)

連結経営成績(3カ月)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	555,593	△9.5	47,194	△28.3	44,829	△27.4	28,682	△36.6
2020年3月期第3四半期	613,957	△12.4	65,846	△31.1	61,710	△27.8	45,206	△23.1

	1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	30.35	30.34
2020年3月期第3四半期	47.87	47.83

○添付資料

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
（1）連結経営成績に関する定性的情報 .....	P. 2
（2）連結財政状態に関する定性的情報 .....	P. 5
（3）連結業績予想に関する定性的情報 .....	P. 5
2. その他の情報 .....	P. 6
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動 .....	P. 6
（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 .....	P. 6
（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更 .....	P. 6
3. 四半期連結財務諸表 .....	P. 7
（1）四半期連結貸借対照表 .....	P. 7
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 9
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 11
（4）継続企業の前提に関する注記 .....	P. 12
（5）セグメント情報 .....	P. 12
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	P. 14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

コマツは、2021年の創立100周年とその先の成長を目指し、2019年4月より2022年3月期をゴールとする3カ年の中期経営計画「DANTOTSU Value - FORWARD Together for Sustainable Growth」をスタートし、①イノベーションによる価値創造、②事業改革による成長戦略、③成長のための構造改革を成長戦略3本柱として掲げています。新型コロナウイルスの世界的大流行により経済活動が停滞しているものの、将来に向けて収益向上とESG（環境・社会・ガバナンス）の課題解決の好循環による持続的成長を目指して活動を継続していきます。

本中期経営計画の2年目となる2021年3月期の第3四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年12月31日まで）において、連結売上高は1兆5,133億円（前年同期比17.2%減少）となりました。建設機械・車両部門では、一般建機を中心に需要の着実な回復が見られたものの、引き続き石炭向け鉱山機械が低調に推移したことや、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、売上高は前年同期を下回りました。産業機械他部門では、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、鍛圧機械、板金機械及び工作機械の需要が低調に推移し、売上高は前年同期を下回りました。利益については、固定費の削減に取り組んだものの、建設機械・車両部門の販売量減少及び構成差、円高の影響などにより、営業利益は1,075億円（前年同期比48.3%減少）となりました。売上高営業利益率は前年同期を4.3ポイント下回る7.1%、税引前四半期純利益は1,033億円（前年同期比45.6%減少）、当社株主に帰属する四半期純利益は659億円（前年同期比51.2%減少）となりました。

本中期経営計画より新たに経営目標として掲げているESGについて、世界の代表的な社会的責任投資指標「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インディシズ ワールドインデックス（DJSI World）」に引き続き選定されました。また、国際的な非営利団体CDPIにより、「気候変動対策」及び「水セキュリティ対策」においてAリスト企業と認定されました。今後も、安全で生産性の高いスマートでクリーンな未来の現場を、お客さまとともに実現していきます。

（金額単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間 [A] 1ドル = 108.9円 1ユーロ = 121.0円 1元 = 15.7円	当第3四半期 連結累計期間 [B] 1ドル = 106.4円 1ユーロ = 122.1円 1元 = 15.4円	増減率 % [(B-A)/A]
<b>売上高</b>	<b>1,827,442</b>	<b>1,513,310</b>	△17.2%
建設機械・車両	1,658,093	1,381,765	△16.7%
リテールファイナンス	52,914	49,511	△6.4%
産業機械他	127,000	102,007	△19.7%
消去	△10,565	△19,973	-
<b>セグメント利益</b>	<b>204,253</b>	<b>108,206</b>	△47.0%
建設機械・車両	182,853	89,947	△50.8%
リテールファイナンス	10,899	8,176	△25.0%
産業機械他	9,633	8,984	△6.7%
消去又は全社	868	1,099	-
<b>営業利益</b>	<b>207,828</b>	<b>107,536</b>	△48.3%
<b>税引前四半期純利益</b>	<b>189,922</b>	<b>103,359</b>	△45.6%
<b>当社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>135,268</b>	<b>65,976</b>	△51.2%

（注）セグメント別売上高は、注記のないものはすべてセグメント間取引消去前ベースです。

部門別の概況は以下のとおりです。

**【建設機械・車両】**

建設機械・車両部門の売上高は1兆3,817億円（前年同期比16.7%減少）、セグメント利益は899億円（前年同期比50.8%減少）となりました。

中期経営計画の成長戦略の重点活動として、鉱山向け無人ダンプトラック運行システム（AHS）の強化を進め、12月末時点の総稼働台数は累計297台となりました。鉱山現場の自動化に加え、最適化プラットフォームの構築を進め、鉱山のお客さまの安全性向上及びオペレーションの最適化を推進していきます。

建設現場向けソリューション「デジタルトランスフォーメーション・スマートコンストラクション」については、お客さまの施工の最適化に貢献するソリューションとして訴求し、国内においては既存の従来型建機にICT機能を提供するレトロフィットキットのミニショベルへの適用拡大を開始しました。引き続き建設現場のデジタルトランスフォーメーション実現を加速させていきます。

世界的な気候変動への意識の高まりが加速する中、中小型クラスの油圧ショベルの電動化の実証実験に向け活動を開始しました。また、成長のための構造改革の一環として、生産能力の適正化のため、コマツマイニング（株）において坑内掘り石炭向け鉱山機械の生産拠点を再編を進めました。

建設機械・車両部門の地域別売上高（外部顧客向け売上高）

（金額単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間 [A]	当第3四半期 連結累計期間 [B]	増 減	
			金 額 [B-A]	増減率 % [(B-A)/A]
日本	226,232	212,695	△13,537	△6.0%
北米	435,474	318,974	△116,500	△26.8%
中南米	231,783	201,437	△30,346	△13.1%
米州	667,257	520,411	△146,846	△22.0%
欧州	160,471	123,217	△37,254	△23.2%
CIS	99,984	78,753	△21,231	△21.2%
欧州・CIS	260,455	201,970	△58,485	△22.5%
中国	94,153	106,106	11,953	12.7%
アジア(※)	159,767	86,086	△73,681	△46.1%
オセアニア	152,427	159,407	6,980	4.6%
アジア(※)・オセアニア	312,194	245,493	△66,701	△21.4%
中近東	20,734	20,060	△674	△3.3%
アフリカ	73,412	61,674	△11,738	△16.0%
中近東・アフリカ	94,146	81,734	△12,412	△13.2%
合計	1,654,437	1,368,409	△286,028	△17.3%

(※) 「アジア」は日本及び中国を除きます。

地域別の概況は以下のとおりです。

#### <日本>

日本では、新型コロナウイルス感染拡大の影響が小さかった公共工事などを中心に新車販売が回復したものの、第2四半期までの民間工事の停滞や営業・サービス活動制限などにより、売上高は前年同期を下回りました。

#### <米州>

北米では、住宅建設向けの需要は回復基調にあるものの、経済活動の停滞によるレンタル向け及び原油安の影響によるエネルギー関連向けの一般建機や、鉱山機械の需要が低調に推移したことにより、売上高は前年同期を下回りました。

中南米では、ブラジルにおいて一般建機需要が堅調に推移したものの、第2四半期までの新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより、売上高は前年同期を下回りました。

#### <欧州・CIS>

欧州では、主要市場であるドイツ、英国、フランスやイタリアにおいて需要は新型コロナウイルス感染拡大の影響から回復基調にあるものの、第2四半期までの需要が低調であったことから、売上高は前年同期を下回りました。

CISでは、インフラ及びエネルギー関連向けの一般建機の需要が回復基調にあることに加え、金鉱山向け需要が堅調であったものの、石炭向け鉱山機械需要が低調に推移したことなどにより、売上高は前年同期を下回りました。

#### <中国>

中国では、新型コロナウイルス感染収束後のインフラ投資などの景気下支え策により需要が引き続き堅調であり、国産メーカーの販売比率は上昇しているものの、需要増加を着実に取り込んだ結果、売上高は前年同期を上回りました。

#### <アジア・オセアニア>

アジアでは、インドネシア、タイ、マレーシアにおいて一般建機を中心に需要の着実な回復が見られたものの、引き続き石炭向け鉱山機械が低調に推移したことや、第2四半期までの新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

オセアニアでは、鉄鉱石向け鉱山機械需要及び一般建機需要が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

#### <中近東・アフリカ>

中近東では、原油価格の低迷及び新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより、引き続きサウジアラビアなどで需要が低調に推移しており、回復基調にはあるものの、売上高は前年同期を下回りました。

アフリカでは、南部アフリカ地域において、鉱山機械の販売が増加したものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより一般建機需要が引き続き低調に推移し、売上高は前年同期を下回りました。

#### [リテールファイナンス]

リテールファイナンス部門では、北米を中心に資産が減少したことに伴い、売上高は495億円（前年同期比6.4%減少）となりました。セグメント利益は、支払猶予の影響及びリースアップ車の評価を見直したことなどにより、81億円（前年同期比25.0%減少）となりました。

**【産業機械他】**

産業機械他部門では、半導体市場向けエキシマレーザー関連事業の売上げが堅調であったものの、鍛圧機械、板金機械及び工作機械については新型コロナウイルス感染拡大の影響により需要が低調に推移したことに加え、海外のお客さまの現場における据付け作業の遅延により、売上高は1,020億円（前年同期比19.7%減少）、セグメント利益は89億円（前年同期比6.7%減少）となりました。

11月には「未来のGEMBAを提案」をテーマに、産業機械、工作機械のデモンストレーションなどをご覧いただける、東日本（小山地区）展示場を栃木工場内に開設しました。コマツグループの総合力として、これまで培ってきた技術・ノウハウと先進技術を生かし、変化する社会、多様化するニーズに対応し、お客さまの生産性向上に更に貢献してまいります。

**（2）連結財政状態に関する定性的情報****<財政状態>**

当第3四半期連結会計期間末は、たな卸資産が増加した一方、米ドルに対して為替が前期末に比べ円高となったことに加え、売上債権や現金の減少などにより、総資産は前期末に比べ606億円減少の3兆5,929億円となりました。有利子負債残高は、前期末に比べ959億円減少の9,163億円となりました。また、株主資本は前期末に比べ278億円増加の1兆7,995億円となりました。これらの結果、株主資本比率は前期末に比べ1.6ポイント増加の50.1%となりました。

**<キャッシュ・フロー>**

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産が増加したものの、受取手形及び売掛金の回収が進んだことにより、2,393億円の収入（前年同期比814億円の収入増加）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の購入などにより、1,265億円の支出（前年同期比227億円の支出減少）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払いなどにより、1,473億円の支出（前年同期は262億円の収入）となりました。これらに為替変動の影響を加えた結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は前期末に比べ305億円減少し、2,170億円となりました。

**（3）連結業績予想に関する定性的情報**

昨年10月28日に公表しました2021年3月期の連結業績予想に変更はありません。



## 2. その他の情報

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更
  - ①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更  
該当事項はありません。
  
  - ②①以外の会計方針の変更  
該当事項はありません。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

区分	前連結会計年度末 (2020年3月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (2020年12月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産				
現金及び現金同等物	247,616		217,057	
定期預金	2,057		1,436	
受取手形及び売掛金	744,395		688,849	
たな卸資産	805,309		821,963	
その他の流動資産	147,413		131,325	
流動資産合計	1,946,790	53.3	1,860,630	51.8
長期売上債権	420,918	11.5	433,709	12.1
投資				
関連会社に対する投資及び貸付金	38,210		37,853	
投資有価証券	7,328		7,750	
その他	2,436		2,522	
投資合計	47,974	1.3	48,125	1.3
有形固定資産	757,679	20.8	765,092	21.3
オペレーティングリース使用权資産	53,454	1.5	54,483	1.5
営業権	157,521	4.3	160,069	4.5
その他の無形固定資産	162,062	4.4	163,284	4.5
繰延税金及びその他の資産	107,288	2.9	107,602	3.0
資産合計	3,653,686	100.0	3,592,994	100.0

区分	前連結会計年度末 (2020年3月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (2020年12月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)				
流動負債				
短期債務	483,658		307,336	
長期債務 － 1年以内期限到来分	118,880		92,187	
支払手形及び買掛金	220,160		217,914	
未払法人税等	23,169		25,075	
短期オペレーティングリース負債	14,933		14,777	
その他の流動負債	297,825		304,600	
流動負債合計	1,158,625	31.7	961,889	26.8
固定負債				
長期債務	409,840		516,862	
退職給付債務	96,392		93,589	
長期オペレーティングリース負債	38,624		39,918	
繰延税金及びその他の負債	93,980		88,611	
固定負債合計	638,836	17.5	738,980	20.5
負債合計	1,797,461	49.2	1,700,869	47.3
(純資産の部)				
資本金	68,689		69,037	
資本剰余金	136,459		136,262	
利益剰余金				
利益準備金	46,813		47,378	
その他の剰余金	1,699,477		1,710,653	
その他の包括利益(△損失)累計額	△130,666		△114,896	
自己株式	△49,166		△48,934	
株主資本合計	1,771,606	48.5	1,799,500	50.1
非支配持分	84,619	2.3	92,625	2.6
純資産合計	1,856,225	50.8	1,892,125	52.7
負債及び純資産合計	3,653,686	100.0	3,592,994	100.0

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（第3四半期連結累計期間）

四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自 2020年4月1日 至 2020年12月31日	
	金額（百万円）	百分比 （%）	金額（百万円）	百分比 （%）
売上高	1,827,442	100.0	1,513,310	100.0
売上原価	1,296,944	71.0	1,109,060	73.3
販売費及び一般管理費	326,245	17.9	296,044	19.6
その他の営業収益（△費用）	3,575	0.2	△670	△0.0
営業利益	207,828	11.4	107,536	7.1
その他の収益（△費用）				
受取利息及び配当金	5,403	0.3	3,476	0.2
支払利息	△18,892	△1.0	△10,566	△0.7
その他（純額）	△4,417	△0.2	2,913	0.2
合計	△17,906	△1.0	△4,177	△0.3
税引前四半期純利益	189,922	10.4	103,359	6.8
法人税等	49,871	2.7	30,946	2.0
持分法投資損益調整前四半期純利益	140,051	7.7	72,413	4.8
持分法投資損益	2,717	0.1	2,174	0.1
四半期純利益	142,768	7.8	74,587	4.9
控除：非支配持分に帰属する四半期純利益	7,500	0.4	8,611	0.6
当社株主に帰属する四半期純利益	135,268	7.4	65,976	4.4
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的		143.27円		69.83円
希薄化後		143.15円		69.80円

四半期連結包括利益計算書

区分	前第3四半期連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 2020年4月1日 至 2020年12月31日
	金額（百万円）	金額（百万円）
四半期純利益	142,768	74,587
その他の包括利益（△損失）－税控除後		
外貨換算調整勘定	△43,371	17,626
年金債務調整勘定	399	827
未実現デリバティブ評価損益	△430	390
合計	△43,402	18,843
四半期包括利益	99,366	93,430
控除：非支配持分に帰属する四半期包括利益	4,286	11,684
当社株主に帰属する四半期包括利益	95,080	81,746

（第3四半期連結会計期間）

四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期連結会計期間 自 2019年10月1日 至 2019年12月31日		当第3四半期連結会計期間 自 2020年10月1日 至 2020年12月31日	
	金額（百万円）	百分比（%）	金額（百万円）	百分比（%）
売上高	613,957	100.0	555,593	100.0
売上原価	441,626	71.9	409,248	73.7
販売費及び一般管理費	108,767	17.7	98,896	17.8
その他の営業収益（△費用）	2,282	0.4	△255	△0.0
営業利益	65,846	10.7	47,194	8.5
その他の収益（△費用）				
受取利息及び配当金	1,671	0.3	1,062	0.2
支払利息	△5,784	△0.9	△3,160	△0.6
その他（純額）	△23	△0.0	△267	△0.0
合計	△4,136	△0.7	△2,365	△0.4
税引前四半期純利益	61,710	10.1	44,829	8.1
法人税等	14,253	2.3	13,848	2.5
持分法投資損益調整前四半期純利益	47,457	7.7	30,981	5.6
持分法投資損益	987	0.2	985	0.2
四半期純利益	48,444	7.9	31,966	5.8
控除：非支配持分に帰属する四半期純利益	3,238	0.5	3,284	0.6
当社株主に帰属する四半期純利益	45,206	7.4	28,682	5.2
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的		47.87円		30.35円
希薄化後		47.83円		30.34円

四半期連結包括利益計算書

区分	前第3四半期連結会計期間 自 2019年10月1日 至 2019年12月31日		当第3四半期連結会計期間 自 2020年10月1日 至 2020年12月31日	
	金額（百万円）		金額（百万円）	
四半期純利益	48,444		31,966	
その他の包括利益（△損失）－税控除後				
外貨換算調整勘定	22,843		11,120	
年金債務調整勘定	254		340	
未実現デリバティブ評価損益	801		138	
合計	23,898		11,598	
四半期包括利益	72,342		43,564	
控除：非支配持分に帰属する四半期包括利益	4,647		4,369	
当社株主に帰属する四半期包括利益	67,695		39,195	

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	前第3四半期 連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	当第3四半期 連結累計期間 自 2020年4月1日 至 2020年12月31日
	金額（百万円）	金額（百万円）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益	142,768	74,587
四半期純利益から営業活動による現金及び現金同等物の増減（純額）への調整		
減価償却費等	97,221	98,266
法人税等繰延分	2,439	△2,470
投資有価証券評価損益及び減損	△236	16
固定資産売却損益	△3,759	△239
固定資産廃却損	2,465	1,730
未払退職金及び退職給付債務の増減	△1,566	△1,650
資産及び負債の増減		
受取手形及び売掛金の増減	30,046	39,646
たな卸資産の増減	△84,027	△15,889
支払手形及び買掛金の増減	△33,018	△3,212
未払法人税等の増減	△20,730	887
その他（純額）	26,354	47,710
営業活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	157,957	239,382
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の購入	△139,560	△137,239
固定資産の売却	11,881	10,520
投資有価証券等の売却	844	21
投資有価証券等の購入	△492	△601
子会社及び持分法適用会社株式等の取得（現金取得額との純額）	△21,646	△1,717
その他（純額）	△340	2,461
投資活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	△149,313	△126,555
財務活動によるキャッシュ・フロー		
満期日が3カ月超の借入債務による調達	363,503	564,126
満期日が3カ月超の借入債務の返済	△310,560	△576,116
満期日が3カ月以内の借入債務の増減（純額）	85,778	△76,556
配当金支払	△107,687	△53,878
その他（純額）	△4,786	△4,900
財務活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	26,248	△147,324
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	275	3,938
現金及び現金同等物純増減額	35,167	△30,559
現金及び現金同等物期首残高	148,479	247,616
現金及び現金同等物四半期末残高	183,646	217,057

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,654,437	47,210	125,795	1,827,442	—	1,827,442
(2) セグメント間の内部売上高	3,656	5,704	1,205	10,565	△10,565	—
計	1,658,093	52,914	127,000	1,838,007	△10,565	1,827,442
セグメント利益	182,853	10,899	9,633	203,385	868	204,253

当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,368,409	43,688	101,213	1,513,310	—	1,513,310
(2) セグメント間の内部売上高	13,356	5,823	794	19,973	△19,973	—
計	1,381,765	49,511	102,007	1,533,283	△19,973	1,513,310
セグメント利益	89,947	8,176	8,984	107,107	1,099	108,206

前第3四半期連結会計期間（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	545,124	16,066	52,767	613,957	—	613,957
(2) セグメント間の内部売上高	1,295	2,065	504	3,864	△3,864	—
計	546,419	18,131	53,271	617,821	△3,864	613,957
セグメント利益	53,020	4,089	5,594	62,703	861	63,564

当第3四半期連結会計期間（自 2020年10月1日 至 2020年12月31日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	504,095	14,760	36,738	555,593	—	555,593
(2) セグメント間の内部売上高	1,120	1,999	331	3,450	△3,450	—
計	505,215	16,759	37,069	559,043	△3,450	555,593
セグメント利益	37,730	3,494	4,882	46,106	1,343	47,449

（注） 1. 事業の種類別セグメントに含まれる主要製品・事業内容は、次のとおりです。

a. 建設機械・車両セグメント

掘削機械、積込機械、整地・路盤用機械、運搬機械、林業機械、地下建設機械、地下鉱山機械、環境リサイクル機械、産業車両、その他機械、エンジン、機器、鋳造品、物流関連

b. リテールファイナンスセグメント

販売金融

c. 産業機械他セグメント

鍛圧機械、板金機械、工作機械、防衛関連、温度制御機器、光学機械

2. セグメント間の取引は、独立企業間価格で行われています。



【地域別情報】

前第3四半期連結累計期間（自2019年4月1日至2019年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自2020年4月1日至2020年12月31日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第3四半期連結累計期間	285,373	718,281	269,073	115,876	344,423	94,416	1,827,442
当第3四半期連結累計期間	263,344	566,798	210,637	119,780	270,758	81,993	1,513,310

※ 日本及び中国を除きます。

前第3四半期連結会計期間（自2019年10月1日至2019年12月31日）及び当第3四半期連結会計期間（自2020年10月1日至2020年12月31日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第3四半期連結会計期間	101,538	246,638	85,700	41,731	106,118	32,232	613,957
当第3四半期連結会計期間	94,632	208,518	78,412	40,776	100,038	33,217	555,593

※ 日本及び中国を除きます。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。